

牛海綿状脳症(BSE)確定診断の結果について

平成18年4月19日に「牛海綿状脳症の検査に係る専門家会議」委員による検討の結果、下記の牛はBSEであるとの結論を得ましたので、お知らせします。

なお、この牛の食肉、内臓等、当該牛に由来するものは、焼却処分とするため、市場には流通しませんので、念のため申し添えます。

注：「牛海綿状脳症の検査に係る専門家会議」については、ウエスタンブロット法による検査及び免疫組織化学検査の結果が典型的なものであったため、会議を開催せずに電子メールにより確定診断を行いました。

記

〔検体を採取した牛〕

処 理 年 月 日 : 平成18年4月17日
性 別 : 雌
品 種 : ホルスタイン
月 齢 : ~~72ヶ月~~ 71ヶ月
飼 育 地 : 岡山県勝田郡奈義町
スクリーニング
検 査 実 施 機 関 : 岡山県食肉衛生検査所
確 認 検 査 実 施 機 関 : 国立感染症研究所

※ 当該牛の地元に対する取材には、十分御配慮をお願いします。

BSE 確認状況について

厚生労働省医薬食品局食品安全部

	確認年月日 (とちく日・死亡日)	生年月日 (確認時の月齢)	品種 (性別)	生産地 (飼育地)	検査実施機関 (確認検査実施機関)	臨床症状等 (注2)	確認検査結果 (注1)
1	平成13年9月10日 (平成13年8月6日)	平成8年3月26日 (64ヶ月齢)	ホルスタイン種 (雌)	北海道佐呂間町 (千葉県白井市)	千葉県 ((独)動物衛生研究所)	起立不能 敗血症	WB法 + 免疫組織化学検査 + 病理組織検査 +
2	平成13年11月21日 (平成13年11月19日)	平成8年4月4日 (67ヶ月齢)	ホルスタイン種 (雌)	北海道猿払村 (北海道猿払村)	北海道留萌保健所天塩支所ウブシ駐在所 (帯広畜産大学)	無し	WB法 + 免疫組織化学検査 + 病理組織検査 -
3	平成13年12月2日 (平成13年11月29日)	平成8年3月26日 (68ヶ月齢)	ホルスタイン種 (雌)	群馬県宮城村 (群馬県宮城村)	埼玉県中央食肉衛生検査センター (横浜検疫所輸入食品・検疫検査センター、帯 広畜産大学)	無し	WB法 + 免疫組織化学検査 + 病理組織検査 +
4	平成14年5月13日 (平成14年5月10日)	平成8年3月23日 (73ヶ月齢)	ホルスタイン種 (雌)	北海道音別町 (北海道音別町)	北海道釧路保健所 (帯広畜産大学)	左前肢神経麻痺 起立困難	WB法 + 免疫組織化学検査 + 病理組織検査 +
5	平成14年8月23日 (平成14年8月21日)	平成7年12月5日 (80ヶ月齢)	ホルスタイン種 (雌)	神奈川県伊勢原市 (神奈川県伊勢原市)	神奈川県食肉衛生検査所 (国立感染症研究所)	起立不能 股関節脱臼 両側前肢関節炎 乳房炎 熱射病	WB法 + 免疫組織化学検査 + 病理組織検査 -
6	平成15年1月20日 (平成15年1月17日)	平成8年2月10日 (83ヶ月齢)	ホルスタイン種 (雌)	北海道標茶町 (和歌山県粉河町)	和歌山市保健所食肉衛生検査室 (国立感染症研究所)	起立障害	WB法 + 免疫組織化学検査 + 病理組織検査 +
7	平成15年1月23日 (平成15年1月21日)	平成8年3月28日 (81ヶ月齢)	ホルスタイン種 (雌)	北海道湧別町 (北海道網走市)	北海道北見保健所 (帯広畜産大学)	無し	WB法 + 免疫組織化学検査 + 病理組織検査 -
8	平成15年10月6日 (平成15年9月29日)	平成13年10月13日 (23ヶ月齢)	ホルスタイン種 (去勢)	栃木県大田原市 (福島県双葉郡葛尾村)	茨城県北食肉衛生検査所 (国立感染症研究所)	無し	WB法 + (注3) 免疫組織化学検査 - 病理組織検査 -
9	平成15年11月4日 (平成15年10月29日)	平成14年1月13日 (21ヶ月齢)	ホルスタイン種 (去勢)	兵庫県水上郡 (広島県福山市)	福山市食肉衛生検査所 (国立感染症研究所)	無し	WB法 + 免疫組織化学検査 - 病理組織検査 -
10	平成16年2月22日 (平成16年2月20日)	平成8年3月17日 (95ヶ月齢)	ホルスタイン種 (雌)	神奈川県秦野市 (神奈川県平塚市)	神奈川県食肉衛生検査所 (国立感染症研究所)	起立困難 股関節脱臼	WB法 + 免疫組織化学検査 + 病理組織検査 +
11 (注4)	平成16年3月9日 (平成16年3月4日)	平成8年4月8日 (94ヶ月齢)	ホルスタイン種 (雌)	北海道標茶町 (北海道標茶町)	北海道十勝家畜保健衛生所 ((独)動物衛生研究所)	股関節脱臼 (死亡牛)	WB法 + 免疫組織化学検査 + 病理組織検査 +
12	平成16年9月13日 (平成16年9月10日)	平成11年7月3日 (62ヶ月齢)	ホルスタイン種 (雌)	熊本県泗水町 (熊本県泗水町)	熊本県食肉衛生検査所 (国立感染症研究所)	無し	WB法 + 免疫組織化学検査 + 病理組織検査 +
13	平成16年9月23日 (平成16年9月21日)	平成8年2月18日 (103ヶ月齢)	ホルスタイン種 (雌)	北海道士幌町 (奈良県新庄町)	奈良県食品衛生検査所 (国立感染症研究所)	起立不能 股関節脱臼	WB法 + 免疫組織化学検査 + 病理組織検査 +

	確認年月日 (とちく日・死亡日)	生年月日 (確認時の月齢)	品種 (性別)	生産地 (飼育地)	検査実施機関 (確認検査実施機関)	臨床症状等 (注2)	確認検査結果 (注1)
14 (注4)	平成16年10月14日 (平成16年10月8日)	平成12年10月8日 (48ヶ月齢)	ホルスタイン種 (雌)	北海道鹿追町 (北海道鹿追町)	北海道十勝家畜保健衛生所 (独)動物衛生研究所)	窒息死 (死亡牛)	WB法 + 免疫組織化学検査 + 病理組織検査 +
15 (注4)	平成17年2月26日 (平成17年2月22日)	平成8年8月5日 (102ヶ月齢)	ホルスタイン種 (雌)	北海道中川郡本別町 (北海道中川郡本別町)	北海道十勝家畜保健衛生所 (独)動物衛生研究所)	関節炎 (死亡牛)	WB法 + 免疫組織化学検査 + 病理組織検査 +
16	平成17年3月27日 (平成17年3月24日)	平成8年3月23日 (108ヶ月齢)	ホルスタイン種 (雌)	北海道天塩町 (北海道天塩町)	旭川市食肉衛生検査所 (国立感染症研究所、帯広畜産大学)	無し	WB法 + 免疫組織化学検査 + 病理組織検査 +
17 (注4)	平成17年4月8日 (平成17年4月4日)	平成12年9月11日 (54ヶ月齢)	ホルスタイン種 (雌)	北海道河東郡音更町 (北海道河東郡音更町)	北海道十勝家畜保健衛生所 (独)動物衛生研究所)	起立不能 (死亡牛)	WB法 + 免疫組織化学検査 + 病理組織検査 +
18	平成17年5月12日 (平成17年5月10日)	平成11年8月31日 (68ヶ月齢)	ホルスタイン種 (雌)	北海道砂川市 (北海道砂川市)	北海道早来食肉衛生検査所 (北海道大学、帯広畜産大学)	起立不能 両股関節脱臼	WB法 + 免疫組織化学検査 + 病理組織検査 +
19	平成17年6月2日 (平成17年5月31日)	平成8年4月16日 (109ヶ月齢)	ホルスタイン種 (雌)	北海道野付郡別海町 (北海道野付郡別海町)	北海道釧路保健福祉事務所保健福祉部 (北海道大学、帯広畜産大学)	無し	WB法 + 免疫組織化学検査 + 病理組織検査 -
20	平成17年6月6日 (平成17年6月3日)	平成12年8月12日 (57ヶ月齢)	ホルスタイン種 (雌)	北海道河東郡鹿追町 (北海道河東郡鹿追町)	北海道帯広食肉衛生検査所 (北海道大学、帯広畜産大学)	無し	WB法 + 免疫組織化学検査 + 病理組織検査 -
21 (注4)	平成17年12月10日 (平成17年12月6日)	平成12年2月13日 (69ヶ月齢)	ホルスタイン種 (雌)	北海道千歳市 (北海道千歳市)	北海道石狩家畜保健衛生所 (独)動物衛生研究所)	心不全 (死亡牛)	WB法 + 免疫組織化学検査 + 病理組織検査 -
22 (注4)	平成18年1月23日 (平成18年1月20日)	平成12年9月1日 (64ヶ月齢)	ホルスタイン種 (雌)	北海道野付郡別海町 (北海道野付郡別海町)	北海道根室家畜保健衛生所 (独)動物衛生研究所)	第四胃左方変異 (死亡牛)	WB法 + 免疫組織化学検査 + 病理組織検査 判定不能(注5)
23	平成18年3月15日 (平成18年3月13日)	平成12年7月8日 (68ヶ月齢)	ホルスタイン種 (雌)	北海道中川郡中川町 (北海道中川郡中川町)	北海道上川保健福祉事務所名寄地域保健部 (北海道大学、帯広畜産大学)	無し	WB法 + 免疫組織化学検査 + 病理組織検査 +
24	平成18年3月17日 (平成18年3月13日)	平成4年2月10日 (169ヶ月齢)	黒毛和種 (雌)	長崎県杵崎市 (長崎県杵崎市)	佐世保市食肉衛生検査所 (国立感染症研究所)	起立不能	WB法 +(注6) 免疫組織化学検査 + 病理組織検査 +
25	平成18年4月19日 (平成18年4月17日)	平成12年4月18日 (72ヶ月齢) 71ヶ月齢	ホルスタイン種 (雌)	北海道枝幸郡枝幸町 (岡山県奈義町)	岡山県食肉衛生検査所 (国立感染症研究所)	無し	WB法 + 免疫組織化学検査 + 病理組織検査 -

(注1) 病理組織検査は、脳組織に明らかな空砲が認められた場合、「+」としている。

(注2) いずれの場合もBSEを疑う臨床症状は確認されなかった。

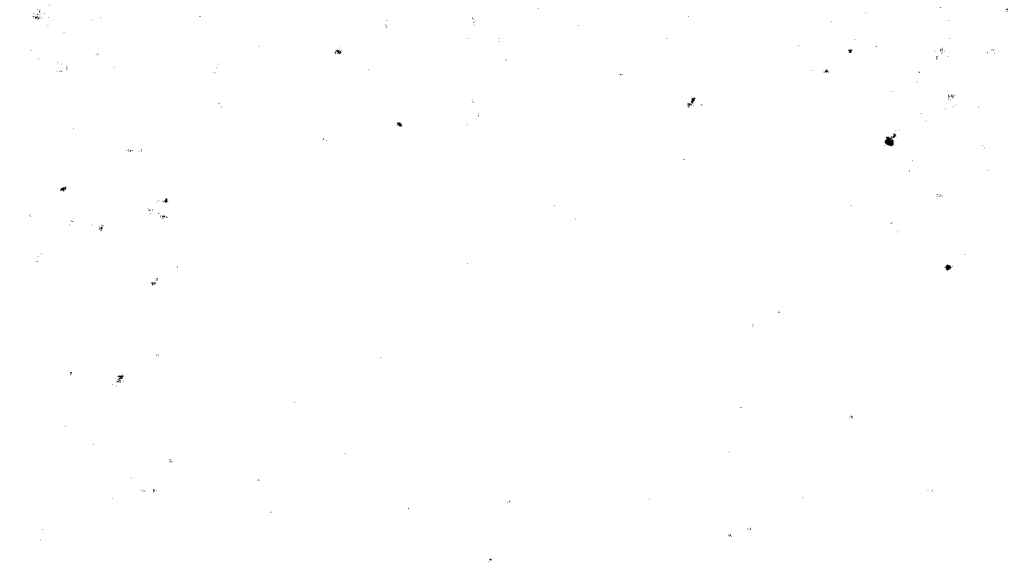
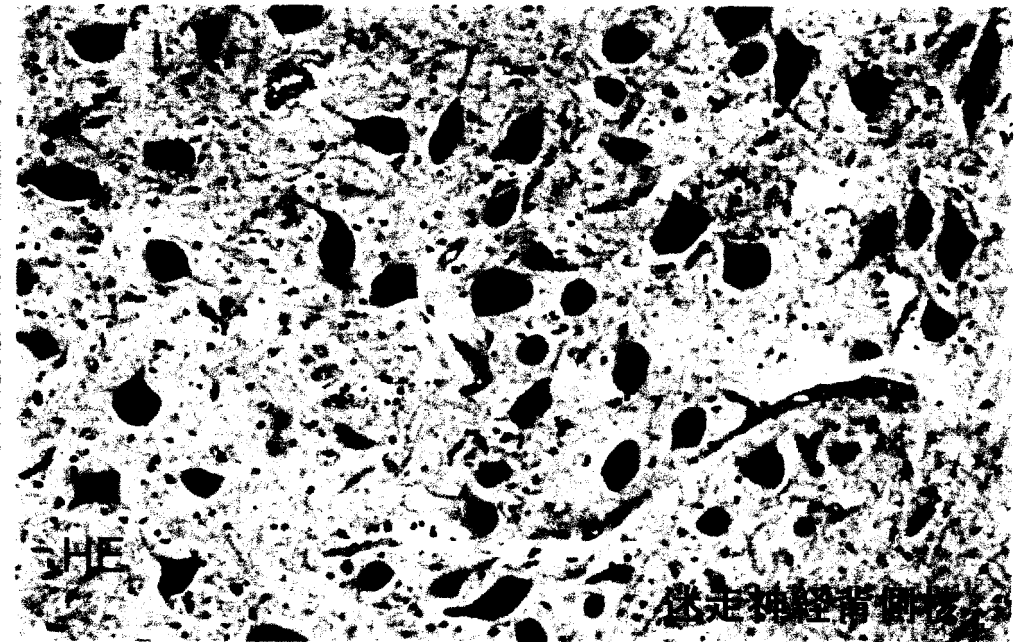
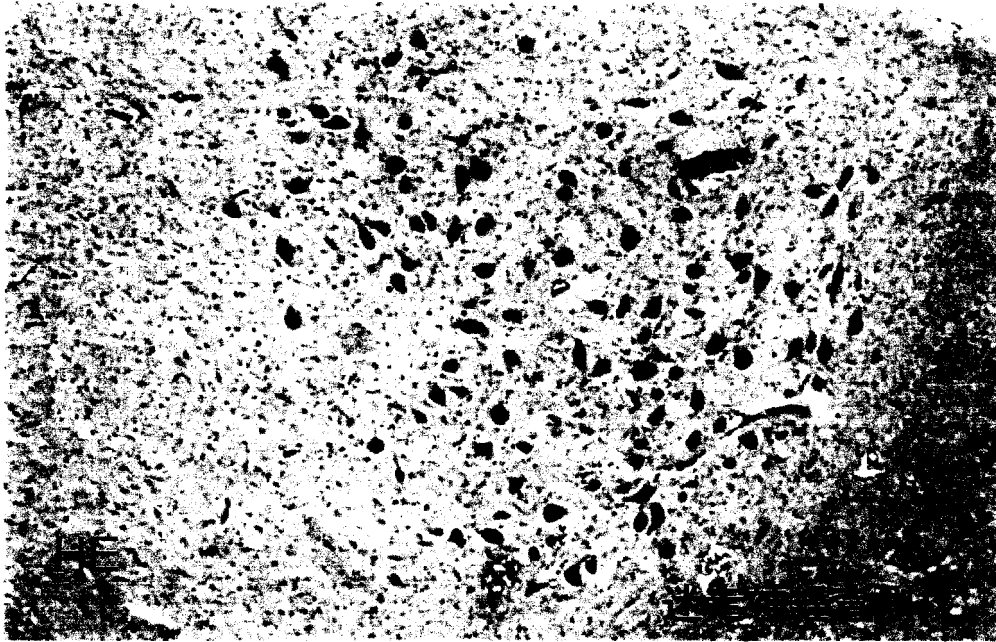
(注3) 糖鎖パターン及びプロテアーゼ耐性がこれまで確認されたBSEのものとは異なっていた。

(注4) 生産段階における死亡牛の検査で確認されたものであり、と畜場へは搬入されていない。

(注5) 非常に弱い空胞変性が認められたが、死後変化との明確な区別が困難であったので、「判定不能」としている。

(注6) 検出された異常プリオン蛋白質のパターンが定型的なものではなかった。

病理・免疫組織化学検査



PrPSc

網様体の大神経細胞

PrPSc

迷走神経背側核

国内25例目(岡山県)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



1. bosPrPsc 64 μ g eq.
2. bosPrPsc 16 μ g eq.
3. bosPrPsc 4 μ g eq.
(bosPrPsc:国内で発見されたBSE感染牛の脳組織から調整したPrPscマーカー)
4. ELISA 10 mg eq.
5. ELISA 2.5 mg eq.
(ELISA:ELISAの脳乳剤から調整した試料)
6. ELISA-2 10 mg eq.
7. ELISA-2 2.5 mg eq.
(ELISA-2:ELISA用に切り出された脳組織断片から国立感染症研究所で調整した試料)
8. NIID 10 mg eq.
9. NIID 2.5 mg eq.
(NIID:国立感染症研究所で脳組織から調整した試料)
10. MoPrPsc 0.4 μ g eq.
11. MoPrPsc 1.6 μ g eq.
12. MoPrPsc 6.4 μ g eq.
(MoPrPsc:マウスPrPscマーカー)

重量は、いずれも脳組織の湿重量

一次抗体:44B1(0.6 μ g/ml)
露光:ECL-plus + X線フィルム
上段:15 sec
下段:1 min

実施機関:国立感染症研究所